

第14回学校水泳研究会

期日：平成26年6月7日（土曜日）午前10時～13時00分

場所：鳴門教育大学（鳴門市鳴門町高島字中島748）
健康棟視聴覚室(E202)

主催：学校水泳研究会

後援：徳島県水泳連盟

協賛：スターテック

対象：学校教員、水泳指導者、および将来水泳指導に関わる職に就く予定の学生、水泳選手とその保護者、そのほか水泳・水辺活動に関心のある方々

10:00 開会行事

10:05～10:25 **安全力の獲得を目指した小学校水泳の学習プログラムの開発と実践**（鈴木修平、ほか：鳴門教育大学大学院）

新学習指導要領に則した上で、確かに泳げる/溺れないための水泳学習のポイントを押さえ、水上での安全力を高めるために行った指導例を紹介します。

10:30～11:00 **避抵抗泳法獲得のための浮身ドリル**（石川雄一：香川大学）

よい姿勢でよくすすむ。ちょっとした工夫で泳ぎのコツがわかる。現在のトップスイマーの泳法・ドリル分析から考案した練習方法を紹介します。

11:05～11:35 **事故事例に学ぶ 水泳指導の安全管理と事故対応**

（松井敦典：鳴門教育大学）

平成24年7月に京都市で発生したプール事故を事例に、水泳事故の安全管理のポイントと望ましい事故対応のあり方について考えます。

11:40～12:20 **基調講演：水泳運動の授業づくり—系統性、順序性を考える—**

（日本水泳水中運動学会会長：合屋十四秋）

水泳教材研究授業で実践してきたこと、そのバックグラウンド、これからの水泳教育はどのようにあるべきかを、水泳教育の伯楽が教員養成38年にわたる指導歴・研究歴を振り返りつつ解説します。

12:25～13:00 **徹底討論：水泳の授業 ほんとうに押さえるべきポイントは何か？**

（問題提起 篠原健真：徳島市立新町小学校）

参加費用：無料

問合せ先：鳴門教育大学大学院 学校教育研究科

松井研究室（088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp）まで

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

資料等の準備の都合上、参加を希望される方は、予め参加者情報（氏名、所属、連絡先住所、電話、email、等：書式自由）をEmail（matsui@naruto-u.ac.jp）またはFax（088-687-6028）でお送りください。